

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成24年 6月 10日現在

機関番号：32418

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2009～2011

課題番号：21520156

研究課題名（和文）クララ・シューマンピアノ作品の演奏法研究と楽譜校訂

研究課題名（英文）Performance Study and Critical Edition of the Piano Works by Clara Schumann

研究代表者

川嶋 ひろ子 (KAWASHIMA HIROKO)

尚美学園大学・芸術情報学部・教授

研究者番号：00149212

研究成果の概要（和文）：世界的ピアニストであり、作曲家としても数多くの作品を残しているクララ・シューマンのピアノ作品について、彼女の音楽的環境や性格、音楽的傾向に基づいて分析することにより演奏表現方法を見出し、楽譜上に校訂として表した。また日本語による演奏法の解説を付すことにより、日本でも彼女の作品を理解し、音楽的に演奏出来る人達が増えることを目指し、世界初となる「クララ・シューマンピアノ作品全集」を出版する。

研究成果の概要（英文）：Clara Schumann, who has gained world-wide renown as a pianist, has also left behind a great number of piano compositions.

Based on the analysis of her musical tendencies, her personality and her musical environment, this critical edition of the complete works for piano, the first of its kind, aims to highlight expression and performance practice. By adding explanations of performance practice in Japanese, the aim is to also contribute to the understanding of her works and to increase the realization of musical performances in Japan.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	1,200,000	360,000	1,560,000
2010年度	400,000	120,000	520,000
2011年度	300,000	90,000	390,000
年度			
年度			
総計	1,900,000	570,000	2,470,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：芸術学、芸術学・芸術史・芸術一般

キーワード：音楽学、女性史、演奏法

## 1. 研究開始当初の背景

(1)2004年に日本及び欧米諸国の音楽大学230校に女性作曲家の作品が演奏される機会に関するアンケート調査を行ったが、専門教育機関でさえ取り扱われる機会は少なく、まだ正当な評価を得ていない状況であった。

(2)クララ・シューマンは近年女性作曲家の中

でも脚光を浴び、作品が紹介されるコンサートも稀に見られるが、ピアノ作品にはまだ未出版の楽譜もあり、楽譜を入手しにくい状況であった。

(3)クララ・シューマンが卓越した技術を持つピアニストであったためか、作品を演奏するには高度な技術や演奏上の工夫が必要とさ

れる箇所が多い。研究開始当初に入手できた楽譜には演奏上の工夫が加えられた物が少なく、作品への理解が難しく、演奏が困難だと思われる傾向があった。

(4)クララ・シューマンピアノ作品の楽譜は、国内外において単独曲あるいは複数曲が収められた曲集の楽譜は出版されているが、ピアノ作品全集はまだ出版されていない。

## 2. 研究の目的

(1)クララ・シューマンピアノ作品の真価を多くの人に知らしめ、また音楽的な演奏を求めするためにペダル、運指法、表情記号などを付記し、演奏し易く、作品への理解を深め易い楽譜を作成する必要がある。

(2)日本語による解説を附記することにより、日本でもクララ・シューマンピアノ作品を演奏する人が増えることを目的とする。

(3)世界においてまだ「クララ・シューマンピアノ作品全集」は出版されておらず、集大成として作成する。

## 3. 研究の方法

(1)クララ・シューマンの生涯、性格、音楽的環境、音楽的傾向などを調べ、彼女の作品の基盤、背景などを把握する。

(2)クララ・シューマンピアノ作品の既出版楽譜、未出版楽譜は自筆譜を全て入手し、演奏法を研究。

(3)研究した演奏法を校訂として楽譜に記入し、解説も附記する。

## 4. 研究成果

(1)クララ・シューマンピアノ作品演奏法研究の成果の一部をリサイタルで発表。東京・津田ホールでのリサイタルはドイツ連邦共和国大使館の後援を頂き、日独交流150周年記念事業の一環として開催。またドイツ・ライプツィヒではシューマンハウス・ライプツィヒ主催でローベルト・シューマン201歳の誕生日にリサイタルを開催して頂き、ライプツィヒ市教育部門議員、クララ&ローベルト・シューマン協会会長等の臨席ならびにスピーチによりリサイタルの重要性が表明された。またライプツィヒ地元テレビ局による収録が行われた。

(2)クララ・シューマンピアノ作品の楽譜は国内外において単独或いは数曲の曲集が出版されているが、ピアノ作品全集はまだ出版されていない。絶版楽譜、未出版楽譜は自筆譜から楽譜を作成したが、自筆譜の提供元で

あるツヴィカウ・シューマン協会、ベルリン国立図書館、ウィーン楽友協会からクララ・シューマンピアノ作品全集出版への期待の言葉が送られた。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計13件)

- ① 川嶋ひろ子、シューマン夫妻「愛の軌跡」(12)、音楽月刊誌レッスンの友、査読無、10月号、2010、52-59、
- ② 川嶋ひろ子、シューマン夫妻「愛の軌跡」(11)、音楽月刊誌レッスンの友、査読無、9月号、2010、66-71、
- ③ 川嶋ひろ子、シューマン夫妻「愛の軌跡」(10)、音楽月刊誌レッスンの友、査読無、8月号、2010、66-72、
- ④ 川嶋ひろ子、シューマン夫妻「愛の軌跡」(9)、音楽月刊誌レッスンの友、査読無、7月号、2010、66-72、
- ⑤ 川嶋ひろ子、シューマン夫妻「愛の軌跡」(8)、音楽月刊誌レッスンの友、査読無、6月号、2010、66-71、
- ⑥ 川嶋ひろ子、シューマン夫妻「愛の軌跡」(7)、音楽月刊誌レッスンの友、査読無、5月号、2010、65-71、
- ⑦ 川嶋ひろ子、シューマン夫妻「愛の軌跡」(6)、音楽月刊誌レッスンの友、査読無、4月号、2010、65-71、
- ⑧ 川嶋ひろ子、シューマン夫妻「愛の軌跡」(5)、音楽月刊誌レッスンの友、査読無、3月号、2010、73-81、
- ⑨ 川嶋ひろ子、シューマン夫妻「愛の軌跡」(4)、音楽月刊誌レッスンの友、査読無、2月号、2010、61-67、
- ⑩ 川嶋ひろ子、シューマン夫妻「愛の軌跡」(3)、音楽月刊誌レッスンの友、査読無、1月号、2010、62-69、
- ⑪ 川嶋ひろ子、シューマン夫妻「愛の軌跡」(2)、音楽月刊誌レッスンの友、査読無、12月号、2009、66-71、
- ⑫ 川嶋ひろ子、シューマン夫妻「愛の軌跡」(1)、音楽月刊誌レッスンの友、査読無、11月号、2009、66-71、
- ⑬ 川嶋ひろ子、女性作曲家の世界～クララ・シューマン～、音楽月刊誌レッスンの友、査読無、8月号、2009、16-23、

[学会発表] (計2件)

- ① 川嶋ひろ子、ローベルト・シューマン 201歳誕生日記念コンサート、クララ&ローベルト・シューマン協会、2011.6.8、ライプツィヒ・シューマンハウス、
- ② 川嶋ひろ子、川嶋ひろ子ピアノリサイタル～ローベルト・シューマンに捧ぐ～、日独交

流 150 周年記念事業、2011. 5. 29、東京・津田ホール、

〔図書〕（計 件）

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

川嶋 ひろ子 (KAWASHIMA HIROKO)  
尚美学園大学・芸術情報学部・教授  
研究者番号：00149212

### (2) 研究分担者

( )

研究者番号：

### (3) 連携研究者

( )

研究者番号：